令和７年３月 19 日

第６回　信州たかもり温泉リニューアル検討委員会 会話文字起こし記録

主席者：委員５名

中央アルプスリゾート（谷岡、赤羽、竹村）

倉橋建築計画事務所（篠田、倉橋）

高森町（壬生町長、宮下産業課長兼務観光協会事務局長）

事務局（小平商工林務課係長、中島主任、下平）

１．あいさつ

・堀委員長

・町長

２．基本設計について

・意見募集の結果　意見数 223 件

・意見募集を踏まえた基本設計について

【倉橋設計】

・下足で入れるエリアや無料で入れるエリアの区分けを再検討

・渡り廊下の再検討

・キッズエリア、コミックライブラリーの配置等再検討

【中央アルプス】

中ア）我々としては温泉施設という位置づけで、それをどうするかというところだった。今は、温浴施設もありながら滞在できる、複合型滞在パークという位置づけの考えが浮かんでいる。気軽に入ってレストランに行ってお土産があって、その先に温泉がある、周遊を楽しめる施設。最終的に、そういう施設にするからこそお金をかけていけるというところがあるのかな、と考えてきた。最初は今の御大の館を良くするところから、さらに発展させた施設という位置づけで、動線も含めて考えていけたらと思っている。各所でDX化や、自動チェックイン発券等を探っているが、現代、未来に向けたシステムの導入がどうしても必要不可欠になってくるのかな、と思っている。どうしても我々が管理をしていく中で、人件費やオペレーションの改善というところで、コストがかかってしまう部分をシステムの導入で削り、いいものを入れて、人間は掃除など、よりお客様の対応へ向けていけたらと考えている。

【検討委員】

委員）家族風呂の説明があったが、テラスに作る家族風呂は、宿泊者が利用するということでよいか。説明会で出た意見では、シングルマザーで子どもを抱えた人で、子どもが小学校３年、４年、５年と、ある程度の年齢までは女性のお風呂へ入るのかどうかも含めて、できれば考えてほしいというのが一つあったと思う。高森の今の状況を見ると、あったかてらすという子どもたちが集まる場所が非常に盛況と聞く。町外からも来る、と。そういう人たちが、親子の関係を築きながらゆっくり風呂に入れる環境というのは町の方針にもあっていると思っている。家族なので大きな風呂がある必要はなくて、家の風呂くらいで仕切られてはいれるくらいで十分だと思うので。何かそういうものができると、この地域でそういった目的の家族風呂はないのではないかと思う。この温泉を利用する目的や価値が上がってくるのではないか。いろいろな意味でよそにあるものを付けるというのも一つだが、よそにないものを取り付けるというのも一つの魅力だと思う。検討できる部分があれば一番いいかなと思っている。

事務局）家族風呂の部屋を昼間使えないかという話をしていた。そういった形がもしできるなら、今いただいたご意見は反映できるのではないか。ずっと宿泊者のイメージを持っていたが、そういった使い方は必要だと思っている。

委員）よそから聞く話だが、あったかてらすは相当利用者が広がってきていると聞く。そういう人たちが入れる風呂というのは、また魅力的な部分ではないか。お金をかける必要はないと思うが、知恵を出せるのであればお願いしたい。

事務局）スロープの関係で、最初はＬ字で入っていく形にしていたが、移動距離があるというところで、見直して、もちろん最短をとる。ただ、最短をとると間に階段が必要になってくるが、それでもスロープは必要なのでこちら側へ。

委員）階段はどのくらいのものになるか。

倉橋）75㎝くらいの５段くらい。

事務局）これで最短で直線で行ける形。一応スロープも付けてという形で。今喫煙室と（図面に）書いてあるが、３者（町・中ア・倉橋）の中で話をしていて、人がたくさん通るところには不向きであろう、というところでそれよりもこちらの方がいいのではと。

委員）今、世の中では喫煙はどういうのが一番ベストなのかは少し気になるが。

事務局）あとは土足の関係を大きく変えた。最初の設計案では今まで通り御大の入り口のところで靴を脱いでという話であったが、今の時代、特にホテルは土足で客室まで行くのがほとんどというところからも、お風呂に入る人は上がってもらってというのがいいのではないかというところで少し見直しをかけさせてもらった。町内の方から多かったのが「宴会ができるところにしてほしい」という意見ということもあり、コミックライブラリーの部屋をゆったりした空間の中で本を読んでもらうというものを基本設計案では作っていたが、ここを宴会場としてももちろん使える、昼間であれば会議室のような形で会議をしてもらえるような、宴会場だけでは利用が限られたスペースになってしまうので、宴会場以外での使い方ができる多目的室にする。若い人からはコミックライブラリーのイメージは結構好評なご意見をいただいていたが、取捨選択の中で、そこまで要らないのでは、という意見も出た。湯上りの待合の所に本棚を設けたり、タブレットで雑誌・漫画が読み放題というのも出てきているので、そういった形で見ていただく。そういった環境を整えることはできるのかな、というところで少し方向転換をかけさせていただければと考えている。

委員）前回まではポイント的に、ここは入浴、ここは食事、ここは宿泊とはっきりとさせていていいと思った。宴会とレストランにわりあい重きを置いているようなので、これが経営側から考えてここでレストランと宴会のお客を呼び込むだけの経営ができそうかどうかというところ。話を聞いていると、宴会は「あそこがあって法事ができていい」というような声があるが。そんなに毎回法事を毎回やるのか？と思う。家族が集まってきて、繁盛したとして、高森町全体で言え

ば、ここで宴会ができると、他の宴会屋が困ってしまうのではないかと。今はないから町の宴会屋に行くが、ここが人気になったらそっちがつぶれてしまわないか、というのが一つある。もう一点、これだけレストランを凝縮して下足でも行ける、宿泊者が使えて、温泉に来た人も使ってくれるほどの人気レストランになるかどうかが勝負だと思う。豊丘村がやっているのは、農家の野菜を使っただけであれだけ来ている。魅力的なレストランにするのが、今度は経営をお願いする側。経営をする側が「こんなのをつくってもらっても儲けられない」、というなら考えていかなければいけない。議会でいろいろと話を聞くと、「これがあったほうがいい」と、それぞれ言っていることが様々。それをきいていたらとてつもないことになる。今の計画で行くと、このレストランやキッズスペース、コミックライブラリーもするとして、それだけの集客ができる食事処を経営できるか、手腕にかかってくると思う。

中ア）地元のものを使った食事を題したいと考えている。地元の方のご協力がないと、素材を提供いただける動線はつくっていかないとと思っている。メインをつくることはできるが、地元の野菜などをちゃんとお出しできるよう仕入れられるように、開拓していかなければならない。それが今一番課題かと思っている。そういう方がいれば紹介していただきたい。

委員）あの近辺は地元野菜のほとんどをあんしん市場へ出しているので、あんしん市場と話してもらえたらいいと思う。店には出せない曲がったキュウリとかも売っている。あそこでも駐車場の一角で、農家さんが販売をしていたと思う。

倉橋）ここにももう少しきれいに整えられた広場があって、そういうイベントなどができればいいと思う。イベント広場と書いてあるが、ちょうどいま、上からの坂道があるあたりは車が通れなくなるので、ちょっとした広場になればいいかなと。賑わいに活用できる場所にしていきたいと思う。ちなみにこのレストランの下の車庫のあたりは結構利用のない空間になっているかとおもうが、あの辺はいい場所だと思う。マイクロバスはあそこに停めざるを得ないのかもしれないが。

中ア）停められない、ということはない。一番いい動線にはなるので、地元の方に野菜などを売りに来ていただけたりできれば。

倉橋）あのあたりが賑わいを呼び込める位置だと思う。屋根もあれば。無料のエリアを増やすということなのであれば活用を考えたい。

委員）下駄箱もなくなるし、事務所の大きさはどのくらいになるのかわからないが、土足で上がって階段のところまでは結構な広さなので、そこで地元の何かができれば。

中ア）御大のＩ階はこのあたりで一番のお土産屋さんになればいいなと思っている。

委員）今お土産屋さんも、置いてはあるが、買っていく人は少ないのでは。買わないものをいても仕方ないので、買いたい物を置かないと。そのへんのことを考えてもらって、有効活用して。ある意味でそこでも稼げるようにしていかないといけないのでは。

倉橋）観光協会はどうするのか。

事務局）中央アルプスとの相談になると思うが、観光協会はできればフロント受付のカウンターに一緒に横並びで入らせていただく方がお客さんにとってもいいのかな、と思う。今はフロントの反対側にあって受付がどちらかわからない。そこはぜひ一体で組ませていただくのがいいと思っている。果物狩り等は改修後もそこで受付をするかは未定。観光案内としては（横並び）。

委員）食堂の材料の搬入やストックはどうするのか。

倉橋）現状のバックヤードの入り口は、今ある渡り廊下のところにある。そうすると厨房・パントリーが直結できるが、いったん廊下を横切ることになる。それが一瞬であるとはいえ、いいのか悪いのか。問題があるとすると、今厨房の所に小さくDWと、エレベーターだが、下のスペースが結構大きい倉庫のようになっているのでそこに搬入して、エレベーターで上げるというやり方もある。中央アルプスさんもこれから検討していく中でそこまでやる必要があるのかどうか。もし、渡り廊下側からさっと通れるのでそちらの方が良ければ、コスト的にはかからないというのはある。

委員）搬入は常時しているわけではないと思うので。

事務局）風呂の種類について、電気であったりジェットであったりといったご要望がいくつか出ていた。基本設計案の中では岩盤浴と出させていただいていたので岩盤浴についても期待の声をいただいている。ただ、少し考えなければいけないところがＩ点あって、大島山に岩盤浴施設の建設予定があり、すでにこの検討に入る前からあった。そこに競合する必要があるのかというところがある。岩盤浴とレストランということでゆっくり事業を進めている様子で、岩盤浴をやら

れるというお話を聞いている。

事務局）男性風呂のドライサウナを撤去して、ここに新しいお風呂をつくることは可能か。

倉橋）要はサウナではなく、ドボンと入るお風呂ということか。ドボンと入るお風呂だと少なくとも 60 センチくらいの深さが要るので、それをどういう風にするのかというところだが、結構大掛かりな工事になる。サウナの周りの壁を全部壊して、お風呂に入るには段をつくって少し上って入るという形になると思う。それなりな工事になると思う。我々もそこまでやるべきか、壁が結構あるので、全部壊して作り直すのべきかどうかは、どうしよう中と思っている悩みどころ。本当は全部きれいにして全く新しく作る方がイメージはガラッと変わると思うが。それをやるにしてもどういうお風呂、例えばジェットがいいとか寝湯がいいとか。そのへんでどうしようかなというところで悩んでいる。ただ、あれを作り変えるとなると工事費的にはそれなりにはなる。あとはお風呂の濾過のシステム。お風呂そのものをつくる工事もあるが、お湯をきれいに保つ濾過のシステムも新たにもう一つ作らないといけないとすると、機械室にもう一つ作れるのかと。機械室が狭い。新しいものを置く場所があるのかな、というのは心配。今の所の浴場では大きな浴槽の循環システムと寝湯などの循環システムと、２系統のシステムがある。系統数が増えなければいいが。あと、機械室のスペース的にどうかと。

事務局）普通の浴槽だと温度が熱かったりするという人もいたので。

倉橋）いろんな温度のお風呂があった方が、ということになるか。

委員）こどもはお風呂が熱くて入れないとかいう子がまだ乳幼児クラスだと。

倉橋）今皆さんは寝湯とかは利用されるか。

中ア）週替わりで香り湯イベントをしているので。

倉橋）イベントをやったりすれば結構入ると。ちょっと入りづらいというか、雰囲気的には囲われているので閉塞感を感じる人もいるのかと思う。例えばドライサウナがあるが、外に大きなサウナがあった場合、こっちにドライは必要か？

中ア）あってもいいとは思う。需要はあると思うが。

中ア）あってもいいと思うが、板の張替えなどのリニューアルは必要だと思う。例えば今

あるサウナを別のスチームサウナや塩サウナなどにすることはできるのか。

倉橋）できるとは思う。スペースがあればシステムを変えるだけなので。塩サウナとか。今回、お風呂としてはサウナが大きな特徴になっている。サウナは若い人は非常にあれだが、上の方はそこまでという人が多い中で、今回、お風呂がサウナという売り、特徴が出ることについてはどうか。逆に行きにくくなってしまわないか。

委員）個人的には年齢的なものもあるので温度差が影響する。あまり熱いところから急に外気に触れるとなると。水風呂も入ると思うので、割と若い人たちが利用するのかな、とおもう気もする。私も入ったことはないので必要かどうかはあれだが、サウナはあってもいいと思うし、外のサウナがあれば、中のものは別の目的のものであればいいのかもしれない。

倉橋）高温サウナだとヒートショックの危険もあるので、もう少し皆さんが入りやすい温度のサウナにするものありかと。みんな若者に振りすぎてしまうと入りづらくなってしまうのかと。サウナとして施設の魅力を持たせるのはありか、と思いつつ。

事務局）寝湯は香り風呂が人気？それとも寝湯が人気なのか。

中ア）寝湯は少し低温にしているので。一定の温度なのでずっと入っている人もいる。

事務局）寝湯がいいということか。

中ア）温度差だと思う。低温で。

倉橋）大浴槽が高いので、ぬる湯でゆっくりしたいという人が。

事務局）その寝湯を掘ることは可能か。寝湯ではなくて、普通の浴槽に作り替えることは可能か。

倉橋）原理的にはできる。

事務局）寝湯の需要がの方が多いのか、風呂の種類か。温度差なのか、風呂の種類なのか。

中ア・赤羽）風呂の種類だと思う。

倉橋・篠田）寝湯でゆっくりするにはちょっと閉塞感があると思う。低温風呂はいいとしても、ちょっとお風呂のつくりは見直してもいいかもしれない。

委員）ちょっと低い温度の方が利用する人もいるかも。

倉橋）大浴槽の真ん中に電気風呂と書いて囲っているが、イメージは大浴槽の中に電気風呂を入れ込んでしまう形だが、そうすると大浴槽が小さくなってしまう。そこもどうしようかなという感じ。電気風呂というか、ジェットみたいなのがあった方がやっぱりいいのかなと、そういう要望の声もあったみたいなので、どうか。

委員）土岐だったと思うが、大きな温泉に行ったことがある。そこの浴槽に入ったときに、大きい中に電気だとかいろんなのがあったのは結構楽しかった。ちょっとずつ仕切ったりなんかして。

事務局）倉橋さんにて確認したい部分は概ね大丈夫そうか。

倉橋）これを落とし込んでみて、また何かあれば。方向性はほぼほぼ指示通りだと思うので。

事務局）委員の皆さんもよいか。土足は２階で履き替え、湯が洞・御大の１階は基本的に土足。御大と湯ヶ洞を結ぶスロープは基本的に直線的な形。もちろんスロープをきちんと設けるという形。客室も家族風呂を設けて、昼間の利用も経営の関係で検討させていただく。コミックライブラリーは宴会場か会議室。コミックライブラリーは湯上りどころへ、本棚を設ける、タブレットを使うなどして対応。お風呂については、今日いただいた意見を参考にしながらもう少し詰めていきたいと思う。

３．事業の実施について

・町の予算について

・国の交付金について

４．事業実施説明会について

・説明会予定（福祉センターと併せて）

５．その他

事務局）議会でもご審議をいただく中で、検討委員会に対しても、いろんな意見をいただ

いたりした。町民の皆さんからも多くの意見をいただいており、基本設計については３月までにいったんまとめるというスケジュールの中で、改めて委員会を設定させていただいた。これから本格的な実施設計に入り、本格的な工事については概ね９月以降に令和７年度の工事をさせていただく。そのあとは令和８年度の工事と、２年計画として進めていく。事業実施説明会によって変わっていくところもある課と思う。また検討委員会の皆さんにお集まりいただくところもあるかもしれない。そういった際にはまたご案内するのでご協力をいただきたいのでよろしくお願いしたい。実施していくにあたってお気づきの点があればお声を寄せていただきたい。町としてもやるからにはいい施設にしていきたいということで、倉橋さんにも中央アルプス山にもご協力いただきながら進めていきたいと考えておりますので、引き続きよろしくお願いいたします。

事務局）第６回の検討会お世話になりました。町民の皆さま方からご意見をいただく中で、予算も含めて地域で皆さんが自慢できる、誇れる施設としてご意見を取り入れながらいい方向に迎える検討が進めればと思っている。いろんな議論をいただいておりますが、最終的にはいいものをつくって何とかできればと思っているので、皆様方のご理解、ご協力をお願いしたい。